

平成29年度 第1回 神奈川県校友会定時総会

平成29年8月26日（土）午後5時から、お隣の静岡県熱海にある「ホテルニューさがみや」にて平成29年度神奈川県校友会第1回定時総会が執り行われました。

総会に先立ち午後3時30分より学術講演会が開催されました。講師に荻部洋行生命歯学部小児歯科学講座教授（76回）をお招きして「最近の小児歯科の話題からーリスクに応じた疾患予防プログラムー」という演題で講演をいただきました。

荻部教授も学生時代は神奈川県から本学へ通学されていたということから終始和やかな雰囲気の中での講演となりました。講演内容は我々臨床医にも役立つトピックとしてリスク評価に基づくう蝕管理（CAMBRA）について、S-PRG フィラー含有のシーラント材の有効性を中心に熱のこもった講演がなされました。内容は最新のトピックですが、学生時代に戻ったような懐かしい雰囲気の中聴講することができました。

その後定時総会が開会され、石黒茂雄県校友会副会長（67回）の開会の辞から始まり、次いで藤井達士県校友会会長（67回）から挨拶がありました。今年で県校友会が70周年を迎えること、今後予想される新入会員の減少、免除会員の増加に対しての良



学術講演会：荻部洋行教授

案を求めたいと話されました。来賓の近藤勝洪校友会本部会長からは昨年の110周年記念式典への神奈川県校友会への感謝と、校友会会員子弟に本学を受験してもらいたい旨や学生との繋がりを大切にしていきたいと挨拶がありました。

次いで本部表彰が白寿表彰、米寿表彰、功労者表彰の順に行われ、表彰者を代表して藤下義輝会員（78回）から謝辞があり、これからも校友会の発展のために頑張りたいと頼もしい言葉がありました。

その後、議長に小柳光蔵会員（68回）が選出され、会員現況（553名うち免除112名）、会務現況、福祉共済部現況、神奈川NDUクラブ、本部、歯学会の各報告が行われました。

次に議事に移り、第1号議案、平成28年度会計収入支出決算の承認を求める件、第2号議案、平成28年度福祉共済部収入支出決算の承認を求める件、共に全会一致で承認されました。閉会の辞は宮杜恭子県校友会副会長（65回）が行い、29年度第1回定時総会は終了となりました。

その後入浴を挟み、懇親会が午後7時より館内2階「牡丹の間」で、二次会は午後9時より「クリスタル」にて開かれ、先輩後輩の垣根を超え大いに盛り上がりました。

（金安拓朗・83回記）

